

隠れ家的な
ナイトクラブ

あの日……若旦那、
お楽しみのところ
失礼いたします。

くっくくく

〜グチュ

〜グチュ

げっ……お前ら、
空気読めよな……で、

何だよ？ 言え。

先ほど確認したところ、
こちらのお嬢さんは
招待状を持って
おられますでした。

ただ、旦那様の
お知り合いだと自称
されたので、こちらへ
お連れした次第です。

あらあ、坊ちゃん。
わたしすっかり招待状を
失くしてしまっただけ
なんですのよお。

探して、
彼らに連れてこられて
しまっただけ。

ほう……そう
いうところから



こ、このガキ！
早く離しなさい！
私はお父様に招
かれた客なのよ！

こんな真似をして、
タダで済むと思っ
てー！？

～ポタ



客？まあ…
間違いないじゃ
ねえよ。

だがよ、その失くした招待状…
俺がわざと送った物だと
したらどうする？

エリオの右腕…
星核ハンターのカフカ
お婆さん？（笑）

貴方…一体
どこで…



まあ、カフカさんが
うちの商売にそんなに
興味があるなら

体験させてあげない
のは失礼だよねえ

いぎぎやあああ！

ぐおおおおお！

プチュツ！

貴方！何をする
つもり！？

触らないで！
やめてえ！
止めてえ！

まずは…人格析出液を、
雌豚のケツ穴に注入する

ぐっ…ゴッ…

お、お腹の中が熱い！
これ、一体何を…っ！





ぐおお...っ

やダメメ...

ほ、ほおおおー！

んくー！



ひ、ひいひい...
うう...ぐう...
ひいひい...
うう...ぐう...

ぐぐっ...ほぐっ...

ん？これは？

最後に...たつぷり
かき混ぜたことで雌豚
の人格は析出され、
溶液と一緒に体外へ
排出される

プチ〜

ふうーっ！

プルル〜

カフカ
おばさん？

人間としての最期に、
サヨナラしなよ

マジかよ...
必死に耐えて
やがったのか?

ブチュツ!

おいおい...
この土壇場で
俺の仕事を増やす
んじゃねえよ?

許...許して...
私が自惚れていました。

お願い...
殺さないで...

ほおおっ! ぷおおおっ!

お! おおおおっ!

情けねえなあ...
星核ハンターよお、
これっぽっちか?

せめて最期まで、
雌豚の設定を
貫き通せよな!

ぷうーっ!

プシュツ!



カハッ…ゴホッ…

へへッ
まるで死んだカエル
みたいに無様だなあ

プルル～ ～プルル

まあ、そんなに悲しむなよ。
これだけエロい体してて、
元星核ハンター様なんだ

ぐちゅっ! ぐちゅっ!

きつといい値段で
売れるぜ、カフカ
おばさんよ